

市は岩手中部水道企業団と災害などによる断水に備え、緊急時用連絡管の整備と応援給水に関する基本的事項について協定締結式を開催します。

1 整備目的

近年多発する地震や豪雨等の災害による断水に備え、相互に水道水の応援給水を行うため、各々の給水区域界まで緊急時用連絡管施設を整備します。

2 開催日時等

- ・日 時：令和8年4月20日 15:00～16:00
- ・会 場：岩手中部水道企業団危機管理センター
(北上市藤沢15地割74番地3)
- ・出席者
岩手中部水道企業団 企業長 八重樫 浩文 (北上市長)
奥州市 市長 郷右近 浩

3 事業概要

(百万円)

	R 9 (詳細設計)	R 10～12 (管布設工事)	合計
奥州市 L=1.1km	20.0	160.0	180.0
岩手中部水道企業団 L=0.6km	16.8	79.9	96.7

上記事業費のうち1/4は国の交付金を活用する予定です。

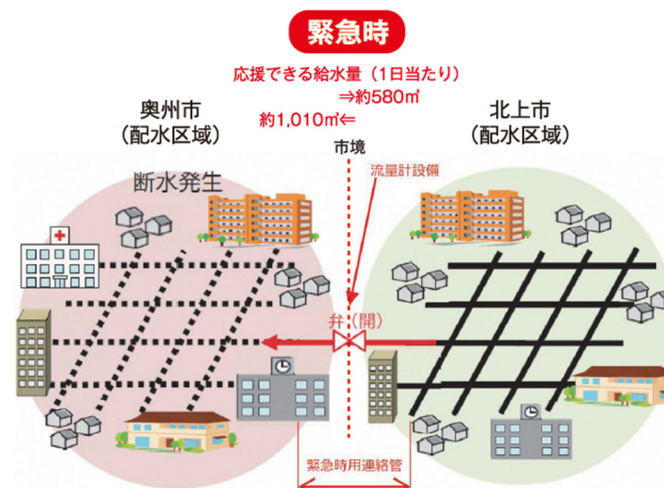
- 費用負担について
共同施設（流量計室）は応援できる給水量の割合に応じて負担、連絡管布設、維持管理費は各事業体で負担

4 整備による効果

災害発生時の断水を防ぐことにより、住民の安心安全な暮らしを守ることができ、職員が応急給水対応以外の復旧活動に迅速に対応することも可能になります。また、将来的に様々な連携に繋がることも期待されます。

	奥州市 ⇒ 岩手中部水道企業団	岩手中部水道企業団 ⇒ 奥州市
給水戸数 (戸)	約810	約1,380
給水人口 (人)	約1,730	約3,000
1日当たり可能給水量 (m ³)	約580	約1,010

整備場所：主要地方道一関北上線
(奥州市江刺稻瀬～北上市稲瀬町地藏堂地内)



緊急時対応のイメージ図